

第5・6年生複式学級 算数科学習指導案

令和3年1月20日(水) 第5校時

場 所 5・6年教室

指 導 者 仲森 浩樹

- 1 単元名 5年生「割合をグラフに表して調べよう」
6年生「データの特ちょうを調べて判断しよう」

2 単元目標

	5年生	6年生
【知識・技能】	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をする技能を身に付ける。	代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフ(ヒストグラム)の特徴、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解する。
【思考・判断・表現】	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的にとらえ考察している。	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。
【主体的に学習に向かう態度】	統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。	統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしている。

3 単元について

	5 年生	6 年生
児童について	<p>グラフや表を読み取れなかったり、正確に書き込めなかったりする場合があります。そこで、グラフを拡大化するなど、とらえやすく、記入しやすくするための環境を整えることが有効となる。</p>	<p>読み取って問題を解決することが困難である場合がある。数表から必要な数値は探せたものの、それをどのように活用するのか分からなかったりすることがある。そこで、問題を解くプロセスをわかりやすく図化して示すなどして、今行っている作業の意味を常に意識できるようにして、学習内容を理解しやすくすることが重要になる。</p>
指導について	<p>帯グラフは、横の長さで割合の大きさを判断し、円グラフは、割合を中心角の大きさで捉えていく。全体量を基にした部分の割合、部分と部分の割合を比較しながら多くのことを読み取り、帯グラフや円グラフのよさに気づかせたい。</p>	<p>前時にまとめた度数分布表を基に、データをヒストグラムに表す方法を知らせ、それをを用いて考察する場を設定する。グラフ化することによる視覚的な分かりやすさを感じさせたい。また、度数分布表の学習を振り返りながら、再度、散らばりを「階級に分けて表すことのよさ」などの特徴に気づかせていくことを大切にしたい。</p>
評価について	<p>帯グラフや円グラフの学習では、統計的にデータを収集したり分析したりする力を育成してくとともに、統計的な問題解決の方法を意識できるようにすることが大切となる。単に、結論を導くだけでなく、これまでに学習してきたグラフの特徴を振り返ったり、他教科との関連を図ったりしながら、目的に応じたグラフを用いて、整理したり考察したりする力が育ったか確かめる。</p>	<p>本単元では、集団の傾向をとらえるために、代表値やドットプロット、度数分布表、ヒストグラムなどについて理解し、それをを用いる力を伸ばす。すなわち、統計的な問題解決の方法を用いて問題を解決する力や、解決した結果を振り返り批判的に考察しようとする態度、生活や学習に活用する態度などが育ったか確かめる。</p>

4 本時の学習

(1) 学習の流れ

5年生(全8時間 本時3時間目)		6年生(全13時間 本時5時間目)	
学年ごとの、好きなメニューの割合を百分率で求めて、それを帯グラフと円グラフに表す。学年ごとの帯グラフと円グラフを見て、どんなメニューを選べばよいか判断し、話し合う。		「柱状グラフ(ヒストグラム)について知る。2,3組のデータを柱状グラフ(ヒストグラム)に表す。3クラスのデータを表した柱状グラフ(ヒストグラム)を読む。柱状グラフ(ヒストグラム)は、散らばりの様子を見るのに便利であることをまとめる。	
本時の目標 帯グラフや円グラフのかき方を理解する。		本時の目標 柱状グラフ(ヒストグラム)の読み方、かき方について理解する。	
学習の活動	指導の留意点(○)と評価(◆)	学習の活動	指導の留意点(○)と評価(◆)
1. 問題把握		1. 問題把握	○学習リーダーが授業を進める。
②低学年, 中学年, 高学年のアンケートの結果を, それぞれ帯グラフや円グラフに表しましょう。		④前のページの度数分布表を, 下のようなグラフに表します。このグラフを見て, 1組, 2組, 3組のとんだ回数のちらばりの様子を調べましょう。	
2. めあて 帯グラフや円グラフのかき方をまとめよう。			
3. 問題 P.88 ①	○百分率の計算に時間をかけないようにさせる。(電卓を使用する)	○柱状グラフ(ヒストグラム)のかき方を理解させる。	
	○帯グラフ・円グラフのかき方を理解させる。	2. 問題 P.184 ①	

				3. めあて 柱状グラフ(ヒストグラム)から,いろいろなことを読み取ろう。
4. 問題 P.88 ②、③ ◎	○帯グラフ・円グラフを読んだり,かいたりする。		4. 問題 P.185 ②、③、④	○柱状グラフ(ヒストグラム)を読んだり,かいたりする。
5. 比較検討する 数字よりグラフにすることで特徴が分かりやすいことを確認する。 6. 適用問題に取り組む 計算スキル9			5. 比較検討する 数字よりグラフにすることで散らばりの様子が分かりやすいことを確認する。 6. 振り返り	◆柱状グラフ(ヒストグラム)から,データの特徴を見いだそうとしている。
	◆帯グラフや円グラフのかき方を理解し,かくことができる。 7. 振り返り 8. まとめ ・帯グラフは,いくつかのグラフを比べるときにわかりやすい。 ・円グラフは,それぞれの部分は全体のどれくらいかがわかりやすい。		7. まとめ ・ヒストグラムは,全体のちらばりの様子がひと目でわかって便利。 8. 適用問題に取り組む 計算スキル32	◆柱状グラフ(ヒストグラム)に表すと,データの特徴や分布の様子が分かりやすくなることを理解し,柱状グラフ(ヒストグラム)を読んだり,かいたりすることができる。

教室座席配置図

